

令和7年8月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和7年8月分について、輸出額は「プラスチック」などが増加したものの、「電気回路等の機器」、「有機化合物」などが減少したことから、対前年同月比14.0%の減少となった。また、輸入額は「液化天然ガス」などが増加したものの、「原油及び粗油」、「石油製品」などが減少したことから、同31.5%の減少となった。

その結果、差引額は767億円（同42.7%の減少）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	734億円	▲14.0%	1,501億円	▲31.5%	▲767億円	▲42.7%
	13カ月連続の減少		6カ月連続の減少			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) プラスチック	51億円	+21.1%	輸入	増加品目	(1) 液化天然ガス	282億円	+12.5%
		(2) 自動車の部分品	81億円	+9.7%			(2) 有機化合物	48億円	+59.8%
		(3) 写真用・映画用材料	30億円	+28.8%			(3) 液化石油ガス	90億円	+15.5%
	減少品目	(1) 電気回路等の機器	46億円	▲37.9%		減少品目	(1) 原油及び粗油	676億円	▲50.6%
		(2) 有機化合物	53億円	▲33.0%			(2) 石油製品	57億円	▲55.7%
		(3) 自動車	78億円	▲24.8%			(3) 絶縁電線及び絶縁ケーブル	8億円	▲49.1%
	地域別動向	アジア、北米が減少、大洋州は増加				地域別動向	中東、アジアが減少、北米は増加		

（参考）ドルレートは、147.73円（前年同月比2.1%、3.16円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。